

# 五観中だより

広島市立五日市観音中学校 平成23年度『学校通信』第13号  
平成23年12月22日 発行

【正門前「校訓」碑】

裏面に  
1月  
行事



## LOVE & PEACE

今年一年は、3月11日に発生した東日本大震災を機に、人と人の関わり、つながりを考えさせられる年となりました。今年を象徴する漢字として、「絆」が選ばれましたが、多くの人々の総意と言えるでしょう。

普段から人を大切に思い、相手を理解しようと努めながら行動、生活していくことが、本当に平和な世の中を作りあげていく基本ではないでしょうか。みなさんは、学校や家庭、地域で、そのような人間関係を築けていますか。築こうとしていますか。人間は本来、だれでも周囲と仲よくやっていきたいと思っているのではないのでしょうか。それを崩壊させてしまうのは、心の中に潜む“わがまま”だと思います。すべての欲を抑え、自分に打ち勝って生きていくのはとても難しいことだと思いますが、常に相手の気持ちを考えて行動することを忘れないようにしたいものです。

ところで、今月15日、今年度本校での勤務が最後となられたリンジー先生が、みなさんに愛情たっぷりのメッセージをくださいました。日本を愛し、母国イギリスを愛し、家族を愛し、人を愛する素敵な先生です。いつも穏やかにみなさんや先生方と接し、日本文化に興味深く吸収し、自国の文化を楽しく紹介してくださいました。先生は、季節ごとイベントごとに、みなさんが英語圏文化に興味を持つよう、掲示物を工夫してくださいました。右上の写真は、クリスマスバージョンでデコレーションされた掲示板です。リンジー先生のような人が増えると、世界はどんどん平和になっていくでしょうね。

最後に、リンジー先生が職員室の先生方に残されたメッセージを紹介しましょう。先生も書いておられますが、みなさんの方こそ、またお会いして、英語を教えてもらいたいのではないのでしょうか。

### ALT(英語指導助手) Lindsey 先生からラブ注入いただきました



〔リンジー先生が、覚えてたの“ひらがな”などで一生懸命書かれたメッセージを紹介します。〕

わたしは、ここでさんかいはたらきました。ぜんぶでにねんぐらいです。でも、わたしはついでに、このがっこうによしきのトイレがあることをしりました。もっとはやくしりたかったです。

いつかいちかんのんのがたいすきです。 えいごのせんせいたちが、とてもよく support してくれましたし、ほかのせんせいたちも、いつもはなしかけてくれました。みなさんの welcome というきもちがとてもつたわってきました。

このがっこうには、いろいろなものがあります。 でも、せんせいたちみなさんが、たいへんなものだいにもあきらめないでまじめにとりくんでいることを、わたしは respect しています。これからもおげんきで。ありがとうございました。また、おあいしましょう。

Lindsey = Newman

## どじょう 自治の根づく「土壌内閣」を期待！

大人の世界では、政治とかけはなれてゴタゴタしていますが、五観中では、さわやかに生徒会役員選挙が行われました。右は、選挙運動最終日の朝、正門での候補者たちの最後の「お願い」の様子です。



下表は、12月13日(火)の“生徒会役員選挙”で“来年の執行部員”に選任された人たちです。すべての立候補者・応援者の演説は、立派なものでした。言葉と行動が伴うよう頑張ってください。

役職名	役員氏名(所属学級)	専門委員会 委員長	男子委員長氏名 (所属学級)	女子委員長氏名 (所属学級)
会 長	藤原 郁也(2 - 3)			
2年副会長	北村龍之介(2 - 1)	文化委員長	山本 拓也(2 - 4)	尾茂田真緒(1 - 1)
1年副会長	榎原 健人(1 - 4)	保体委員長	近藤 拓海(2 - 1)	坂井 美月(2 - 1)
書 記	須崎 彩恵(2 - 4)	美化委員長	元宗 勇人(2 - 2)	石川 朋美(1 - 4)

「お願い」というと、選挙の候補者や応援者は、「清き一票を投じてもらうこと」を願っていますが、当選者を選ぶことに選挙の意義があるわけではありません。実際の政界でも、当選後に、「本当に国民や住民のためと思って政治活動をしているのか？」と思いたくなるような残念な現実があります。

選挙の後、これからが大切です。候補者は、公約(マニフェスト)実現に向けて、いろいろと考え、具体的な手立てを提案・実行し、常に振り返りをしてより良い方向を模索していかなければなりません。そして、執行部員以外の生徒のみなさんにも大きな責任があります。自分たちが選んだリーダーに協力し、いっしょにより良い校風を築いていくことです。生徒会とは、全校生徒を指していることを忘れてはいけません。当選者のみなさん、リーダーとしての自覚をしっかりとってください。生徒のみなさん正しい呼びかけに応じて行動を起こせる人間になってください。先生たちも、必要に応じて力を貸しますが、多くのこと、多くの場面、みなさん生徒の力でやりきれるような集団を目指していきましょう。

## 入みよい マチ ホットできる 地域の絆 2011

【『中国新聞』投稿欄「ヤングスポット」より】

私が住んでいる地域の皆さんはとても心が温かくて優しい人ばかりです。登校中に「気をつけて行ってらっしゃい」といつも笑顔で言ってくれるので、毎日気持ちよく学校に通えます。他にも、私が落ち込んでいる時に優しく声をかけてくださったり、いろいろな場面で助けてもらったりします。私は「この町に住んでいてよかったな」と思います。だからこの地域の皆さんが大好きです。そんな地域の皆さんに恩返しをしたいです。

例えば、ゴミ拾いをして地域をもっときれいにするとか、地域の皆さんと私たちの交流の場をつくってお礼をしたいなと思っています。そして、私も地域の皆さんも「この町が大好きだ」と思えるようになりたいです。気持ちばかりで、何もまだ形になっていませんが、まずは支えてくださる地域の皆さんに、感謝の気持ちを込めたあいさつを自分からしていきたいです。

(安芸高田市 女子中学生)



上 = 小学校の校長先生と  
下 = 地域の方と



お姉  
ちゃんと

なごう  
姉妹



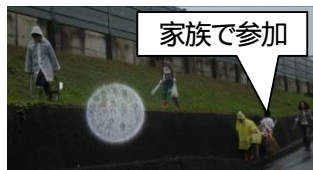
部活で参加

仲間どうしで



公園もきれい  
にしたよ。

12月3日(土)、本降りの冷たい雨がなんとかおさまり、予定どおり、ふれあいボランティア清掃を決定しました。とは言え、小雨が残っていたので、参加が少なくなるかと心配しましたが、108名もの小中学生が、1時間ほど熱心に活動してくれました。悪天候にもかかわらず、例年を大きく上回る参加があり、小学生の姿が、いつもより多かったです。親子で積極的に動いてくださったご家族や、子どもたちに声をかけながら活動して下さる地域の方もおられ、大変よい機会となりました。



家族で参加

裏面に続きます。

今後のボランティア精神向上に向けて、「こうすればもっと良かった」と思える点をあげてみます。

1. 今回は、家を出てからバイパス側道の集合場所に着くまで、各自が準備した袋にゴミを拾い集めながら来るようお願いしていましたが、実際に、それを実行してくれた人は、ごく少数でした。
2. 中学生が、地域の方やPTA役員の方に声をかけていただきながら活動したように、年長者として、自分たちよりも幼い小学生に声をかけながらいっしょに活動する姿が見られたら、もっとよかったです。
3. 右の一番下の写真が、「今回の成果」ですが、参加者数の割には、「成果」が少ないかもしれません。固まって動き、人の後ろをついて行っても、もうゴミはないでしょう。もっと、一人一人が目をこらして探せば、もう少し「成果」が増えたかもしれません。本気さが足りない人がいたのかもしれない。でも、こんな「成果」は、本当は少ない方がいいですね。



斜面で頑張りどや顔



わが町も、今までよりキレイになったのでしょうか。地域で協力し、住みよい環境をつくりましょう。

## 本には見本・手本・基本がいっぱい..読もう

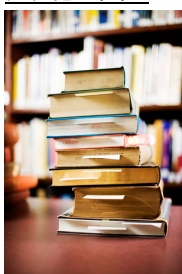
本を読んでいますか。月に、年に、どれくらい読んでいますか。学校では毎日、「朝読書」の時間が設定されていますがこれをきちんと続けるだけでも、何冊かは読破できるのではないのでしょうか。残念ながら、この「朝読書」の時間に話し声の響く人たちや学級があります。「朝読書」には、静かに落ち着いた雰囲気での一日のスタートをきるという目的もありますが、読書という行為にはもっと多くの効果が期待できます。

普段、自分自身や仲間内で使う言葉は、世の中で使われている言葉の何割くらいなのでしょう。本を読めば読むほど日ごろ自分たちが使わないような言葉にたくさん出会わずです。間違いなく使えるようになる言語が増え、読み進めるスピードも早くなります。語彙力・読解力がつきます。

また、読みながら、活字になっていることを想像したり、書かれていないことまで考えたりもするでしょう。思考力が自然と磨かれるのです。

さらに、いろんな作品・作家に触れば、十人十色の表現方法を味わえます。自分で作文する時など、マネすることもできます。つまり、表現力も豊かになるのです。

今、みなさんが取り組んでいる言語数理運用科では、資料を読み取り、比較しながら考え、気づいたこと、わかったことを自分の言葉でわかりやすく他者に伝えることを目標としています。来年から『学習指導要領』が新しくなり、こういった力を活用しながら学び合うため、すべての教科で「言語活動の充実」を図ることが目指されます。こうすることが、「生きる力」を育むことになると考えられています。



ところで、本にはこんな力もあるのではないのでしょうか。何か目標を達成しようとする時のバイブルというか参考書のような働きです。ものの見方・考え方、大きなヒントや安心感を与えるような役割を果たしてくれることもあります。たとえば、昨年ベストセラーになった『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』(岩崎夏海 著)では、お手伝い役というイメージであった女子マネージャーが、思いもなかったビジネス書にヒントを見出し、チームという組織の改革をやったのけます。本は、長い人生の肥やしにも日常の糧にもなるのです。

「たくさん読みました」

図書室より ベスト 10

順位	氏名	所属
1位	藤川 馨子	2 - 3
2位	尼崎 将太	1 - 5
3位	吉光 雅貴	2 - 2
4位	清水 浩史	2 - 2
5位	山本 一輝	3 - 4
6位	岡 菜摘	2 - 2
7位	宮本 琢哉	2 - 3
8位	大木彩弥加	2 - 3
9位	鈴木 直人	1 - 5
10位	三好 幸希	1 - 5

平成23年4月～11月にかけて本の貸し出し冊数が多い順です。

冬休みテレビやゲームばかりでなく、読書もしてみましよう。